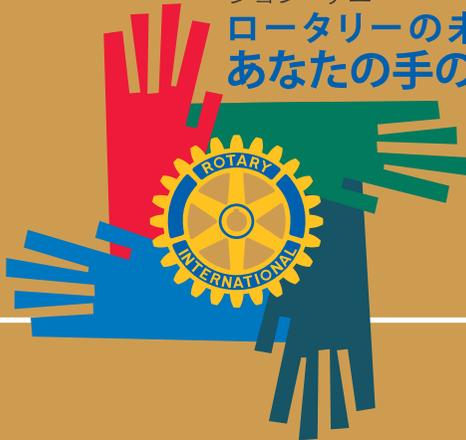


2009~2010年度 国際ロータリーのテーマ
ジョン・ケニー

ロータリーの未来は
あなたの手の中に



会長/対馬健一 幹事/中出敏彦

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2009▶2010 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

親睦でクラブの活力と結束を、 そして奉仕は足もとから

プログラム

- 本日
 - 会員卓話 商工会議所青年部 会長 申橋伸幸 会員
 - 会員誕生日 5月10日 中川 勝美
 - 結婚記念日 4月26日 中出 敏彦
5月11日 松村 孝二
- 次週予定
 - ご夫人誕生日 5月9日 佐藤 裕子
5月10日 行徳智歌子
 - 一休 会一

No. 2416

第39回 4月28日

出席報告

前例会

会員総数.....44名
 出免会員.....4名
 出免出席.....2名
 出席会員.....33名
 出席率.....78.57%

前々会

第35回 3月31日

出席会員.....35名
 メイクアップ.....0名
 修正出席率.....78.57%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F



会長報告

- 4月21日開催の第1グループIMがGSE参加のもと、無事成功のもと終了できました。実行委員会の皆様はじめ会員の皆様、大変ご苦労さまでした。GSEの受け入れも無事その任を終え、ほっとしております。コーディネーターの西谷会員、大嶋国際奉仕委員長大変ご苦労様でした。
- 5月22日開催の砂川RC創立40周年の参加申し込みを再度確認いたします。本日の例会終了後までに登録を締め切ります。

午後6時点鐘。

- 2) 砂川RCより例会休会のお知らせが届いております。5月19日の例会は休会。

会報受領先

- ・深川RC No.2482号~No.2485号



委員会報告

第1グループガバナー補佐 田中会員
 先日のIMでは皆様のご協力大変ありがとうございました。GSEの受け入れでもお世話になり、現在メンバーは室蘭におりまして、今週金曜日から札幌に戻る予定です。多分大丈夫だと思いますが、アイスランドの火山の噴火で帰れなくて、もう1週間留萌で何て事にはならないと思いますが、西谷コーディネーターと29日



幹事報告

- 1) 羽幌RCより例会変更のお知らせが届いております。5月13日夜間例会ははた焼肉店で

に札幌第1ホテルにて開催されるGSEの送別会と日本から派遣するメンバーの壮行会に参加してまいります。最後になりますが、今回のGSEについては、大嶋会員、明澤会員には申し訳なく思っており、感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。残された任期6月まで頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

IM実行委員会 清水ガバナー補佐室長

河部実行委員長が出張中ですので代わりにお礼申しあげます。皆様には大変ご協力いただき厚くお礼申しあげます。先日地区協に行って参りましたが、それぞれ関わった方々にご挨拶しましたが、大変お褒めの言葉を頂きました。すばらしいIMでしたと、またGSEメンバーに対しての心遣いについても細かい所まで気が付いて大変すばらしいIMでしたと言うお話を聞いて参りました。これも皆様のご協力のお陰と思います。感謝申し上げます。沼館GSE委員長さんが言っておりましたが、GSEで来日しているロータリアンのリーダーの話で、こんな和やかなIMは無いと話していたそうです。向こうのIMは勉強会が多く、懇親会も含めての和やかなIMは初めての体験らしく、大変感激をしていたそうです。最後になりますが、1点だけ謝らなければなりません。それは、本来1週間前位に例会等で通しで進行の確認をしなければならなかったのですが、例会が来賓の卓話などで調整がつかず、少しバラけた進行になってしまいました。森総務委員長と私の責任です。お詫びいたします。これが50周年に活かされる事だと思います。まずは、他のクラブよりお褒めをいただいた事を報告いたします。ありがとうございます。

国際奉仕委員会 大嶋委員長

GSEの留萌での研修が無事終了する事が出来ました。ご協力いただきありがとうございます。研修で留萌高校へ行った時、吹奏楽の団員が歓迎の歌を唱ってくれまして、大変感動して帰って参りました。皆様にも聞かせて上げた

いと思ひました。

私は皆様に大変お世話になりましたが、無事GSEが終了し思った事は、何かをする時、また何かをしようと思った時、ロータリーの友情と団結力には大変感激いたしました。本当にありがとうございます。

次年度理事会 ニノ宮会長エレクト

4月18日札幌市において地区協議会が開催され、出席して参りました。札幌芸文館、昔の厚生年金会館で開催され、朝10より午後5時までびっしりお話を聞いて勉強して参りました。

特に話された事はCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)について話され、これについて説明と2510地区にてどう取り扱うかが話されました。各クラブの話を見ると、色々な意見があって、まだ早いとかもう進めているなど、今後地区の方でも話し合っていくのかなと思います。次年度に向けてあと少しですが頑張っていきたいと思います。今回参加された、森(俊)、森(幹)、清水、関野、鈴木会員大変ご苦勞様でした。



3分間情報.....

会員研修委員会 平井委員長

「最も奉仕する者、最も多く報いられる」

の一つの事情

RIの第2標語「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」は、奉仕の報償の基本であるという、根本的な心理と理想を教えたものである。その原型は、人のためを思う職業サービスの精神は、世のためになるとともに顧客を増やし、ビジネスの繁栄につながると説いたシェルドンの実践原理にある。1911年にロータリーで採用され、後に修正されて1950年、第1標語「超我の奉仕」と共にロータリーの公式標語として採択された。

その当時から、永年「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」は、He Profits Most Who Serves Bestの表現で、ロータリアンから信奉されてきた。ここではHeである。ところが

1987年、R Iの女性入会拒否が違法となり、1989年の規定審議会では、R Iの定款文書から「男性」という言葉を削除する制定案が採択された。第2標語でも、Heは男性を現すという事で、その整合性を問われる事になった。

2004年、第2標語について規定審議会では、性別限定用語「He」を「They」に変更する事を決議した。さらに、2007年の規定審議会では、職業奉仕は個人の行動によって実践されるというこの標語の原型の意図を反映させるため、日本のR I理事などから「They」を「He、She」に変更する提案があり、審議会で大方の代議員の賛同を得たが、改正の決議にまではいたらなかった。「He、She」は、混乱を招く可能性もあると、なお検討が続けられることになった。

今月、まもなく開催される規定審議会に、米国のクラブから決議案10-165としてR Iの第2標語を改正する件が提案されている。特定の性別を示唆することなく、個人の行動を示唆する「One(人、者)」という言葉を使って、「They」から「One」へ変更する案である。そしてこの決議案の採択の可能性は大きいとも報ぜられている。

R Iの第2標語の用語は「He」から「They」に、そして今回は「One」に。これで決着するだろう。これに比べて日本語は重宝である。この場合、日本語訳の「者」は不変に違いない。

ニコニコBOX

- IM、GSEお世話になりました 対馬会長
- 留萌クラブの皆様のお陰でGSEとIM無事終了できました ありがとうございます
田中ガバナー補佐
- 18日地区協議会参加してきました 清水さん、鈴木さん、関野さん、森(幹)、(俊)さんご苦労様でした
二ノ宮エレクト
- GSEの留萌での研修が無事終える事が出来ました ありがとうございます DVD、写真いただきました 大嶋会員
- GSE受け入れで会員皆様の協力ありがとうございました 西谷(英)会員

• DVDいただきました IMで接待会場委員会の皆様ご協力ありがとうございました

中川会員

• 写真、DVDいただきました 久木会員

• 写真いただきました

遠藤、関野、西谷(恭)会員

• DVDいただきました

高田、森(俊)、鈴木会員

• 父の葬儀に際しお忙しい中ご会葬いただきありがとうございました 大嶋会員

前 回 686,000円

今 回 69,000円

累 計 755,000円

■新会員紹介■

長谷川 哲 哉

(昭和31年7月15日生まれ)

職業分類：信用金庫

勤務先：留萌信用金庫〈本店営業部長〉

結婚記念日：昭和60年6月9日



プログラム

「友」誌を役立てる

会員研修委員会 平井委員長

4月はロータリーの雑誌月間です。「友」誌への認識を深め、ロータリー情報の普及も図りながら、地域社会への広報にもこの「友」誌を活用するとあります。話の途中ですが、スペースシャトルで2日遅れですが地球に生還しました。あの山崎直子さんは、ロータリー財団の国際親善奨学生であると新聞に出ていました。このあたりの事をもっと取り上げて、どっかの紙面に掲載するか、ロータリーを今流行りの言葉で言いますと、公共イメージと言うのでしょうか、理解が進むのではないかなと思います。東京大学から1994



第38回 4月21日(水) 天候/雨

年から95年に松戸中央RCからアメリカメリーランド州の州立大学に留学しています。この辺の事をもっと有効に活用すればロータリーをもっと地域へのPRになったのではと思います。

ロータリーの友誌はロータリアンとして3大義務のひとつともなっていますので、必ず購読をしなければいけないのですが、ここにも書いておられますが、あなたは、「読む人」「見る人」または「積む人」ですかとあり、「よく読む人」または「サラッとタイトル位読む人」「あんまり見ないで」どっかに友を積んでおく人がおります。よもや捨てる人はいないだろうと思いますので、そこには捨てる人はいないだろうと思いましたが「捨てる人」とは書きませんでした。しかし実際には、配布された例会日に残されている方がおりますので、大変残念に思います。ロータリーの友は全国で10万部の発行ですが、今も1部200円という値段で発行されており、広告料を徴収したり、頁数はグッと落とすなどの努力がなされています。地域雑誌として世界のロータリーの活動を紹介し、「The Rotarian」と共に世界のロータリアン一人ひとりに同じ情報を提供しています。この「The Rotarian」と地域雑誌を合わせてロータリーワールドマガジンプレスと言われているようです。現在はインターネットが進んでいるようで、2003年7月にホームページが開設され、「Rotary Japan」となっております。友誌は記録、保存性に優れ、全体像を把握しやすく、ホームページは速報性に優れ、検索のしやすさ、双方向性に長けている。双方の特性を生かし、平行して使われるのが有効と思われる。

私はロータリー歴39年になりますが、どこかの段階でキョウレツにロータリーを教え込まれた時がございませう。それはガバナーであり、後にRI理事にもなった竹山パストガバナーさんにたまたま学校の同窓でもあったので可愛がっていただきました。私が教わったのは、とにかく知識を広めなさいでした。ロータリアンである以上、ロータリーの事を覚えなさいという事で、ロータリーをよく知る、興味が深まる、好きになる、楽しくなる、動きが高まる、という

事で、ロータリアンである以上、情報誌である「友」誌をよく読むことが、ロータリーライフを楽しくさせます。そんな事から、元々活字はあまり嫌いではなかったのが、よく「友」誌を読むようになりました。また、もう一つのきっかけは、私は入会した年は加地さんが会長で石川先生は副会長でしたが、入会2年目に会報委員会に配属され、当時の会報はテープレコーダーで聞き取りをし、一字一句間違わないで掲載をしなければならぬ時代でした。その当時のロータリーは強者どもがおりまして、ロータリー用語を誤ったりするとすぐさま指摘されるというそんなクラブでありましたので、ロータリーの事をよく知る為にも、欠かす事が出来ませんでした。そんな事から、読ませる効用も時には必要なことだと思いました。

次にロータリー誌の中からいくつか抜粋してみたいと思います。私の記憶にあるのが、ロータリーよ何処へ行くという言葉でございます。つまりロータリーは創立以来105年が経過しております。成熟期から完熟期となり、現在は各クラブは減少がみであり、ある意味低迷期にかかるのかもしれない。この中でRIはどういう方向に向かっていくのだろうかということがあります。RI会員の中には色々な異論もございませうが、ロータリーのピクプロジェクトはポリオ撲滅であります。1988年開始の世界ポリオ撲滅推進計画(ロータリー財団のポリオプラスプログラム)を開始、ポリオ発生率は99%減少したが、目標はあくまで完全撲滅完遂。そこで2007年11月ビルゲイツ財団が1億ドルの補助金を提供。(ただし、ロータリーが同額の1億ドルを集めることを条件に。)これを受け、RIは「ロータリーの1億ドルのチャレンジ」と掲げた。2009年1月にビルゲイツ財団が新たに2億5500ドルの投入を発表、RIは先の1億ドルに加えて2億ドルとし、「ロータリーの2億ドルチャレンジ」と修正して、2012年6月の目標達成を目指す。各RCに今後3年間毎年1000ドルの寄付要請となりました。このポリオ撲滅についてはこれまでに、世界の子供たち20億にワクチンを投与して、25万人の死を免れております。

現在125カ国であと残りは大方4カ国とされています。その4カ国とは、アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンで、これまで7億ドルを拠出しております。ですからビルゲイツ財団とロータリー財団で総額12億ドルが投資されます。R Iはこのプロジェクトが壮大であり、ポリオ完全撲滅まで次のプロジェクトは組まないとも言っております。勿論細かいプロジェクトは組みますが、たとえば最近では水に関するプロジェクトで、水の保全とか、清潔な水など、各国で色々取り組んでおります。しかしビックプロジェクトとしてはこれを完遂するまではビックプロジェクトを組まないことになっております。

次に国際ロータリーの新長期計画でございます。R Iの組織や活動に関する未来への目標と方向性を打ち出して、3年ごとに見直しをいたしますが、2004年～2007年度はポリオ撲滅、プログラムの重点分野の明確化、研修と教育リーダーシッププランの充実化、会員基盤の増強拡大、公共イメージの向上、ロータリーの中核となる価値観(奉仕、親睦、多様性、高潔性、指導性)を掲げ、2007年～2010年度の長期計画はこれらに加え、職業奉仕への取り組みの強調、継続性と一貫性のある長期計画の遂行を掲げました。これからの長期計画として2010年～2013年度は3つの重点項目に分けて活動計画を位置づけ、①クラブのサポート強化(会員の増強、リーダーの育成、四代奉仕での調和のとれた奉仕活動、長期計画の立案) ②人道的奉仕の重点化増加(ポリオ撲滅、青少年プログラム、財団プログラム、他組織との協力拡大、プロジェクトの創造) ③公共イメージと認知度の向上(行動主体の奉仕をPRする、職業奉仕の理想を強調する)となっております。

また、2010年4月の規定審議会に提案されている立法案の中からいくつかホームページより捨ててみました。色々面白いものもございます。例えば、手続要覧をロータリーの鐘の隣に置くことを全RCに奨励することの検討をR I理事会に要請する件(ポルトガル)とあります。どう

でも面白いのではないかと思います。また、R I細則にクラブの自治権を明記すること(日本/伊丹)や、メイクアップや例会の回数等、まったく違う提案では、新しい会員種類で、法人会員を創設するというもので(米国、オーストラリア)これは果たしてロータリーに馴染むのかどうか、これは法人の代表者1人が原則会員で例会出席が出来ない時にはその会社の中から3名まで登録して、その者が代わりに出席をするというものです。これがどうなるのかも興味を持たれます。それとこれは大切なことで、ロータリーの奉仕の理想を定義することを検討するようにR I理事会に要請する件(日本/敦賀、釧路北)などさすが日本だと思ような立法案もあります。興味のある方はホームページでもこの規定審議会の決議案、立法案、制定案が見れますのでどうぞご覧いただけたらと思います。ご清聴ありがとうございました。

国際ロータリー第2360地区 GSE滞在記



留萌高校訪問



FMもえる生出演



やまか工場見学



国稀見学

